

保護者さま

児童発達支援 評価アンケート
子どもデイサービス サニー

全児童 3人 うち 2家庭 計2件
集計 2件
令和 6年 2月 1日記入

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センターまたは、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者の方に、事業所の評価をして頂くものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入をお願いします。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2				・安全であると思いますが、たまに密集している時があります。 ・人数が増えと少し狭いと感じることがあるが工夫してくれている。	今後も子どもたちが安全に楽しく活動できるように工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2				適切。	・職員研修の機会を確保し、専門性の向上に努めます。 ・質の高い職員の人数を増やしていき、子ども達がより安全に安心して成長していけるようにしていきます。
	3 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境【※1】になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備などはバリアフリー化や情報伝達への配慮は適切になされているか	2					
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画【※2】が作成されているか	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	8 活動プログラム【※3】が固定化しないよう工夫されているか	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2					
保	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング【※4】等)が行われているか	2					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					

護者への説明等	14	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2			前年度開催はなかった。	今年度は開催に向けて調整して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていると共に、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れがあった際に迅速かつ適切に対応されているか	2				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2				
	19	個人情報に十分注意しているか	2				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2				
	23	事業所の支援に満足しているか	2				

【※1】

「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのか示せるように、机や本棚の配置など、子供本人に分かりやすくすることです。

【※2】

「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援の目標及び達成期間、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画の事です。

【※3】

「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事です。子どもの障がいの特性や課題などに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

【※4】

「ペアレントトレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方などを学ぶ事により、子供が適切な行動を獲得することを目標とします。